

NEWSLETTER

No012720

先週のレポート no012320 においてこのように述べました:

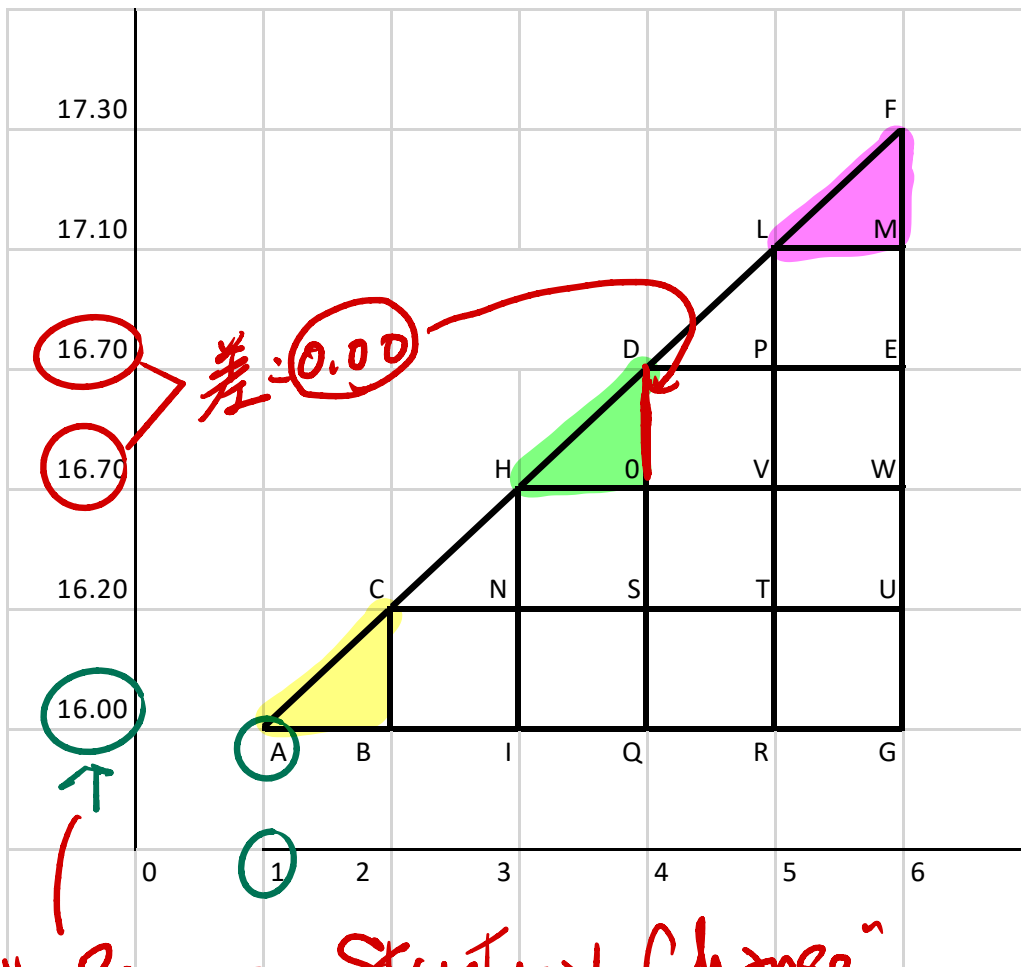
「方法論を支えているのは理論的背景です。理論的背景は十分に理解されているという前提に立って進んでいきます。」

ナンバーオペレーションの“理論”は数字に反映されています。

すべて数字に“manifest”(「マニフェスト」:はっきりとあらわれている様)されているのです。

“Number Operation”
数字(文字)通りの意味
で可。

過去を遡ると、長い時間をかけてマトリックスの“からくり”(数学的原理)について理解を掘り下げそれを実践に利用する方法を紹介し解説してきました。次のステージはマトリックスとバリューチェーンの関係を理解しそれを実践に利用するナンバーオペレーションにおける一段水準の高いより本格的な(英語では“full-fledged”と言います。)世界です。バリューチェーンに含まれている数字はマトリックスと比べて圧倒的に多いです。C、P、S、[01]、[02]、……[12]といった記号に加えて10~25のS値、それぞれのS値に対応するCとPの値を全て合わせると少なくとも192個の数字があります。それらを選択的に組み合わせることで事業目的を遂げるのがナンバーオペレーションです。



数字に入り
込るの不
思議な興
味深いから
くり(=教育的
原理=自然科
学的原理)と
利用可能な
技能を伸ばし可。

“Reverse Structural Change”